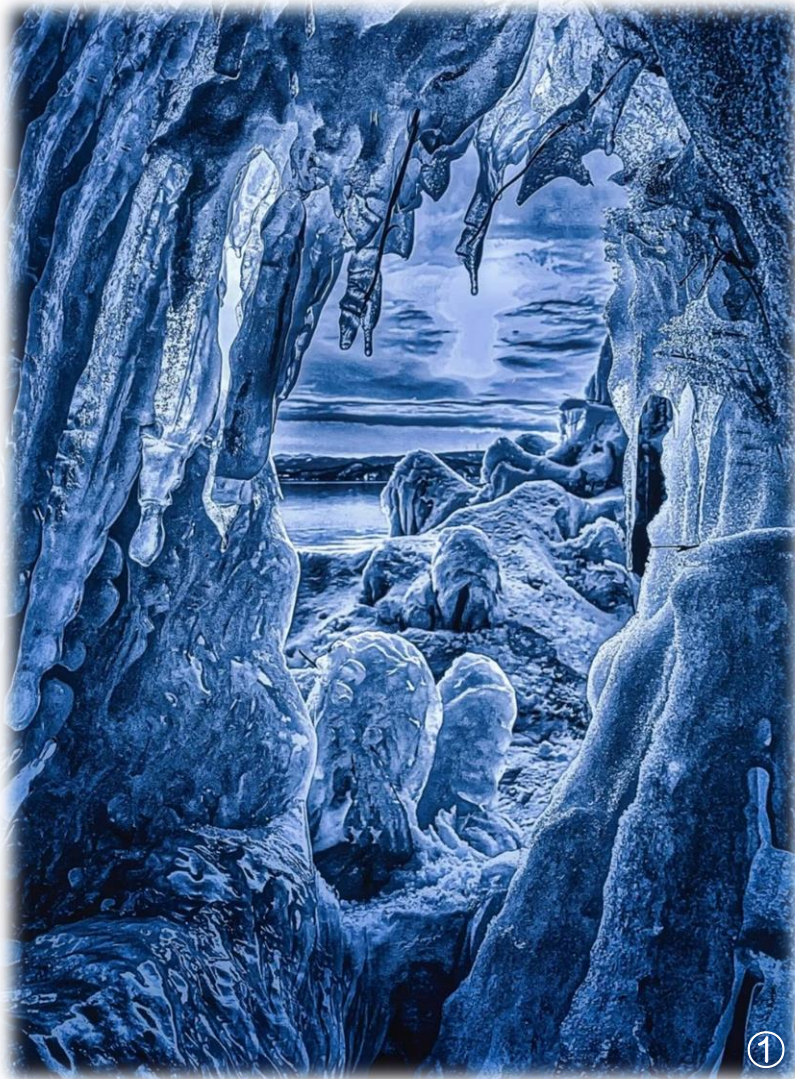


水環境ニュース



第20回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

(主催：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会)

①最優秀賞「ICE WORLD」(猪苗代湖)

②優秀賞「いとなみ」(猪苗代町 蚕養) ③優秀賞「雄国沼カーペット」(雄国沼)

「水環境ニュース」では、県内各地で取り組まれている水環境活動など、水環境に関する情報を発信しています。

今号の記事内容

○地方流域水循環協議会

- ・「地方流域水循環協議会研修会」を開催しました！

○水環境活動検討会

- ・「江花川せせらぎ公園子どもの水辺」協議会設立検討会と水環境活動検討会を開催しました！

○「水との共生」プラン第Ⅳ期の取組方針について

- ・「水との共生」プラン第Ⅳ期の取組方針を策定しました！

○その他のトピック

- ・企画募集の御案内
- ・「水との共生」出前講座の御案内
- ・編集後記

地方流域水循環協議会

「地方流域水循環協議会研修会」を開催しました！

令和5年2月8日（水）福島県環境創造センターにて、「上下流連携による流域が一体となった水環境活動の活性化」をテーマに研修会を実施し、水環境活動の更なる活性化に向けた工夫やヒントを学びました。（参加者：約50名）

■研修会の実施内容

(1) 基調講演

「流域での市民参加ーその課題と可能性ー」

講師：内閣官房水循環アドバイザー 中村晋一郎氏

善福寺川（杉並区）での活動事例及び全国160の河川市民団体からのアンケート結果等に基づき講話をしていただき、今後の地域連携を促進するヒントを得ることができました。



中村 晋一郎 氏

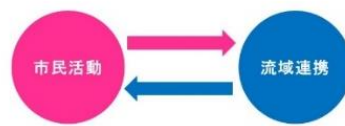
○持続的な活動のために重要なこと

- 1 定期的な活動内容の修正や改善
- 2 活動資金の確保
- 3 専門家（研究者・技術者・行政職員等）の参加
- 4 事務所の存在

○流域連携の有効性

- 1 自然と社会の理にかなった持続可能な社会システムの構築が期待できる
- 2 多面的、総合的、連関的な取組が期待できる
- 3 水を通じた環境保全への意識と行動を高め、人々の安らぎの充足も期待できる

必要なのは、市民活動と流域連携の相乗効果のデザイン



課題（前半の話題）

- ✓ 定期的な活動内容の修正や改善
- ✓ 活動資金の確保
- ✓ 専門家（研究者・技術者・行政職員等）の参加
- ✓ 事務所の存在

機能（後半の話題）

- ✓ 市民活動活性化
- ✓ 活動資金の確保
- ✓ 資金・人材調達・分配
- ✓ 調査・研究・提案
- ✓ 情報発信

NAGOYA UNIV.
Faculty of Environmental Engineering
E-mail: shunichi.nakamura@nagoya-u.ac.jp

(2) 水環境団体による取組事例の発表

取組事例発表団体（3団体）

- ・阿武隈川サミット実行委員会 ～上流は下流を思い、下流は上流に感謝する～
- ・特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク ～歴史から川を考える～
- ・夏井川流域の会 ～森・川・海・子供たちの笑顔が見える夏井川～

協議会構成団体からの発表の後、講師を交えた意見交換を行い、上下流連携の大切さについて学びました。

水環境活動検討会

令和4年度に須賀川市の「江花川せせらぎ公園子どもの水辺」協議会設立検討会から「水環境活動検討会企画提案募集」へ御応募いただき、当課で現地見学等のお手伝いをさせていただきました。

江花川を活用した新たな地域の賑わいの創出に向けた「子どもの水辺」協議会を設立し、令和5年度からの活動の準備が整いました。

■第1回（9/28）

先進地事例見学として、福島市の「水辺の会わたり」及び桑折町の「桑折かわまち協議会」案内のもと現地見学と意見交換を行いました。



水辺の会わたり



桑折かわまち協議会

■第2回（12/13）

第1回の結果をもとに、規約と活動内容の検討を行いました。



■第3回（3/24）

「子どもの水辺」協議会設立総会を開催し、活動計画や予算、規約、役員について承認され、協議会が正式に発足しました。



「水との共生」プラン第Ⅳ期の取組方針について

本県の「水との共生」プラン第Ⅳ期の取組方針を策定しました！

「水との共生」プラン（以下、「プラン」という。）は、水と人との良好な関係を取り戻し、健全な水循環（※）を未来に継承していくことを目的に、本県の水に関する施策の基本的な考え方を水循環の視点から示す計画として、平成18年に策定し令和4年に更新しました。

プランを円滑に推進するため、概ね5年毎に取組方針を定めて取組を行っており、第Ⅲ期（平成30年度から令和4年度）が終了することから、新たに第Ⅳ期（令和5～9年度）の取組方針を策定しました。

■目指す姿

流域の健全な水循環を未来に継承

■重点的取組事項

- （1）水環境活動の活性化に向けた更なる情報発信と人づくり
- （2）多くの主体との交流促進と連携の強化

■具体的な取組

【取組1】水辺における活動へ安心して参加できる環境づくり

- ・流域治水に関する取組などの災害に備える情報発信や研修会などの開催
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策及びコロナ禍での活動事例などの情報発信等の実施
- ・ニュースレター（水環境ニュース）などでの放射性物質に関する情報発信（継続）
- ・除染の効果や河川などにおける放射性物質の実態把握
- ・環境アドバイザー等派遣
- ・親水施設整備

【取組2】水環境団体の主体的な活動を後押しする取組

- ・「水との共生」出前講座の実施
- ・せせらぎスクールへの資材提供
- ・せせらぎスクール指導者養成講座
- ・水と触れあうイベント（県主催）の実施
- ・行政機関の支援制度についての活用事例などの情報発信
- ・優良な水環境団体の活動紹介

【取組3】水環境団体と若い世代を繋ぐ取組

- ・大学生等のボランティアサークルなどへ水環境活動への意識調査の実施
- ・大学生等の参画につながるような検討会やイベントの開催
- ・水環境活動に関心のある大学生の情報を水環境団体に提供
- ・引き続き、中学校や高等学校のクラブ活動等で実施している水環境に関する学習成果等の情報発信など、子どもたちの水環境への意識啓発につながる活動の実施

【取組4】水循環協議会の水循環施策の窓口機能の更なる強化

- ・研修会、意見交換会などの内容の充実
- ・構成外の団体などとの交流の場の提供
- ・水環境活動団体や若い世代、ボランティア、参加希望者などが自由に交流できる場をSNSなどにおいて提供
- ・水循環協議会の水環境活動総合窓口としての機能強化
- ・ふくしまSDGs推進プラットフォームとの連携
- ・各地方流域水循環計画の見直し

■今後の予定

上記取組方針に基づき、水環境活動の活性化を図ります。

福島県では、豊かな水循環の保全と健全な水循環の継承に向け、県内の様々な団体から、水環境活動等の企画を募集しています。こんなことをしてみたいけど資金がない、どうやれば良いのか分からないなどのことがあれば、復興・総合計画課まで御相談ください。

水環境活動企画提案募集

より地域に即した水環境活動を実施するため、各流域で様々な取組をされている皆様から、県と協力して実施する活動の企画案を募集しております。

水環境活動検討会企画提案募集

各団体における水環境活動の充実を図るため、活動内容の検討から実施までを一連で行う取組を支援します。

水環境活動の充実や活性化を図りたいと考えている団体の皆様から、県の協力により実施する検討会の企画案を募集しております。

「水との共生」出前講座の御案内

県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会などに講師を派遣しています。

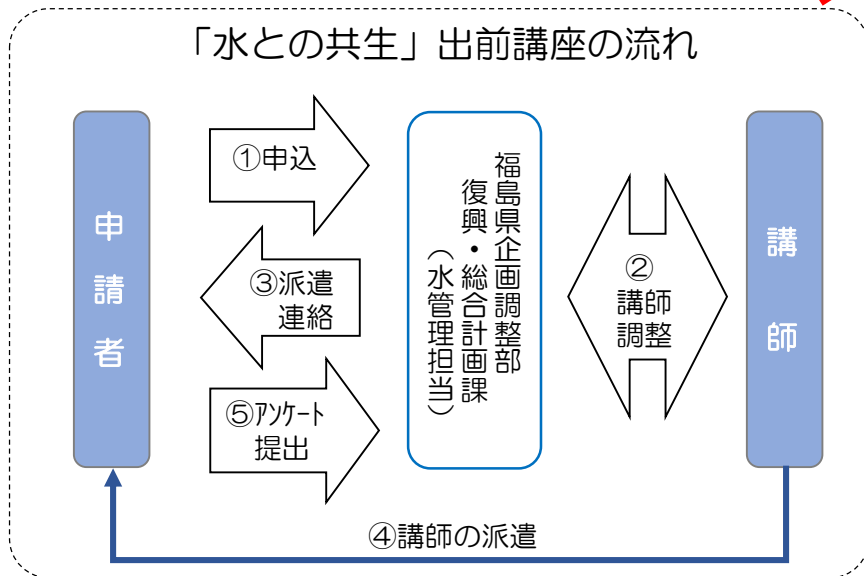
令和5年度も引き続き募集しますので、講師の派遣を希望される団体の方は御連絡ください。

【令和4年度派遣事例】



水生生物による水質調査

「水との共生」出前講座の流れ



編集後記

水環境ニュースをご覧いただきありがとうございます。

令和4年度は、16年ぶりに更新された「水との共生」プランがスタートし、これまでの取組成果や県政世論調査及び水環境団体の皆様へのアンケートなどを踏えて第IV期の取組方針について策定させていただきました。また、コロナ禍前よりも多くの水環境活動を主催することができ、多くの方々に水に触れ、水について考えていただく機会をつくることができました。ありがとうございました。

令和5年度は、更に多くの団体の皆様が安心して楽しく活動できるよう協力していきたいと考えております。

今後も水環境団体の皆様にとって有益な情報を発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

